

Ⅱ - 2 脳血管障害患者の注意障害に対する Modified Attention Process Training

○池尻 容子¹⁾ 山下 佳代¹⁾ 高橋真須美¹⁾
神内 拓行(RPT)¹⁾ 日原 信彦(MD)¹⁾ 石田 暉(MD)¹⁾

【はじめに】我々、作業療法士が臨床場面で脳血管障害患者の治療を進めるに当たって、「課題や作業がすぐ中断する」「落ち着きがない」などの注意障害が見られることが多い。

今回、2症例の脳血管障害患者の注意障害に対して豊倉らが考案した Modified Attention Process training (以下、MAPT) を施行し、その結果を検討したので報告する。

【対象及び方法】

症例1、45歳女性、右前大脳動脈瘤破裂。平成7年2月発症。近医を経て同年5月リハビリ目的にて当院入院。8月自宅退院となり、外来通院している。著明な運動麻痺ならびに失行・失認・失語は認められず、ADLは自立していた。しかし訓練場面では持参したタオルの置き忘れなどが多く、これは周囲からの妨害刺激が多くなるほど目立っていた。

症例2、56歳男性、クモ膜下・出血後血管れん縮による右前頭葉脳梗塞。平成7年5月発症。近医を経て同年8月リハビリ目的にて当院入院。11月自宅退院となり、外来通院している。運動機能に著明な麻痺はない。入院時構成障害が認められたがADLは自立。しかし外出時、道路を横断する際、車に注意が向かず、危険な場面が観察された。

MAPTは注意の持続・選択的注意・注意の交換の3つに対する訓練で、全25項目で構成されている。今回はすべての課題を用い、1日1回20～30分間訓練として実施した。

MAPTの効果を確認するために、MAPT施行前と退院時、MAPT終了時、終了後3カ月目に注意力・記憶力・知能の評価を施行した。注意力評価としては、audio-motor method (以下、AMM)、paced auditory serial addition task (以下、PASAT)、trail making test (以下、TMT) を、記憶力評価は三宅式記憶力検査を、知能評価はWAIS-Rを施行した。また注意障害が原因と思われる問題行動の観察を行った。

【結果及び考察】MAPT施行前から終了後3カ月目に行った注意力評価等の結果を表に示す。症例1のTMTの結果は、MAPT施行前より徐々に時間が短縮。またPASATは、終了時には正常範囲内に至った。症例2の場合、TMTはMAPT終了時に、PASATは終了後3カ月には正常範囲内に至った。これより両症例とも自然回復の可能性も否めないが、MAPTが注意障害改善の一要因になったと考えられる。

行動観察上では、MAPT終了時には社会生活上の改善が見られた。これは注意障害の改善が社会生活に汎化されたことを示唆するものと思われる。

2症例の記憶力評価の結果を考察する。症例1はMAPT施行中からPASATが向上し、次いで三宅式記憶力検査の得点も向上している。これより症例1の場合、注意障害の改善が記憶力に影響を及ぼしたことを示唆するものと思われる。しかし症例2の場合、三宅式記憶力検査の結果に改善が見られない。これより症例2の場合には注意障害の改善は記憶力に対して影響を及ぼしていないと考える。

1) 東海大学医学部付属大磯病院リハビリテーションセンター

以上の結果を文献的に考察すると、APT を提唱した Sohlberg らは『APT は注意障害に特異性のある訓練プログラムであり、process specific approach という立場から、ほかの機能への効果の汎化も期待し得る』と述べている。また豊倉は『注意障害に起因するほかの機能・能力障害も付随的に改善させることができる一方、それによらない障害には効果がない』としている。今回の2症例の注意力の改善やそれに伴う社会生活上の改善、2症例の記銘力の変化の違いなどは、このことを裏付ける結果となり得るであろう。

また MAPT の二次的効果として、ホームプログラムとして MAPT を行ったことから、検者に

なった家族が症例の注意障害とその程度を認識することができ、家族は症例に対して注意の促しや励ましなど、積極的に関わられるようになったと思われる。

【まとめ】 注意障害を有する脳血管障害患者2例に対して MAPT を施行した。その結果、MAPT 施行後 PASAT-TMT などの注意力評価に改善を認めた。さらに注意障害に伴う行動上の問題において改善を認めた。これらのことより今回の症例のように身体機能に問題がなく、注意障害のみが残存している症例に対して積極的に注意障害訓練を行うことは有意義であると考えられる。

表 注意力・記銘力・知能評価結果

		症例 1				症例 2			
		施行前	退院時	終了時	3ヵ月目	施行前	退院時	終了時	3ヵ月目
A M M	正答率 (%)	100	100	98	100	96	100	100	100
	的中率 (%)	100	100	98	100	82	98	96	96
P A S A T	1秒用 (個)	3	16	23	20	3	11	15	15
	2秒用 (個)	9	27	25	27	9	12	17	22
T M T	A (秒)	86	81	85	96	203	145	108	138
	B (秒)	150	141	122	131	251	218	195	138
三 宅 式	正答数 有	8-10	10	9-10	10	9-8-9	8-10	8-10	8-10
	無	1-5-5	3-5-3	6-5-8	8-7-7	4-5-8	2-4-7	1-2-4	3-4-8
W A I S	TIQ	92	96	95	97	89	97	106	104

… 正常範囲外